

令和元年第 1 回  
議会報告会実施結果  
(各会場分)

令和元年 1 2 月 2 5 日

## 1 開催日時及び場所

(1) 令和元年10月23日(水) 午後6時30分から

- ① 宮野目振興センター ② 太田振興センター ③ 外川目振興センター  
④ 八幡振興センター ⑤ 浮田振興センター

(2) 令和元年10月24日(木) 午後6時30分から

- ① 谷内振興センター ② 八重畑振興センター ③ 松園振興センター  
④ 笹間振興センター ⑤ 大瀬川振興センター

(3) 令和元年10月25日(金) 午後6時30分から

- ① 内川目振興センター ② 小山田振興センター ③ 八日市振興センター  
④ 田瀬振興センター ⑤ 花巻市文化会館

## 2 班編成及び担当会場

	A班	B班	C班	D班	E班
10/23	宮野目振興センター	太田振興センター	外川目振興センター	八幡振興センター	浮田振興センター
10/24	谷内振興センター	八重畑振興センター	松園振興センター	笹間振興センター	大瀬川振興センター
10/25	内川目振興センター	小山田振興センター	八日市振興センター	田瀬振興センター	花巻市文化会館
構 成 員	横田 忍 (総務、改革)	羽山 るみ子 (産建、広報)	菅原 ゆかり (総務、改革)	久保田 彰孝 (産建、広報)	佐藤 峰樹 (文福、広報)
	藤井 幸介 (産建、広報)	伊藤 盛幸 (文福、広報)	佐藤 現 (産建、広報)	照井 省三 (文福、改革)	照井 明子 (文福)
	高橋 修 (産建)	内舘 桂 (総務、改革)	瀬川 義光 (文福、広報)	盛岡 耕市 (総務、広報)	若柳 良明 (産建、広報)
	本舘 憲一 (文福)	大原 健 (文福)	阿部 一男 (総務)	藤原 晶幸 (文福)	佐藤 明 (産建)
	藤原 伸 (総務、改革)	櫻井 肇 (総務、改革)	伊藤 源康 (産建、改革)	鎌田 幸也 (総務)	近村 晴男 (総務、改革)

※各議員名の下段( )内には所属している委員会等名を記載しています。

# 目 次

## 【10月23日（水）】

- P 1 . . . . . 宮野目振興センター
- P 2 . . . . . 太田振興センター
- P 3 . . . . . 外川目振興センター
- P 4 . . . . . 八幡振興センター
- P 5 . . . . . 浮田振興センター

## 【10月24日（木）】

- P 6 . . . . . 谷内振興センター
- P 8 . . . . . 八重畑振興センター
- P 9 . . . . . 松園振興センター
- P 1 0 . . . . . 笹間振興センター
- P 1 1 . . . . . 大瀬川振興センター

## 【10月25日（金）】

- P 1 3 . . . . . 内川目振興センター
- P 1 4 . . . . . 小山田振興センター
- P 1 5 . . . . . 八日市振興センター
- P 1 6 . . . . . 田瀬振興センター
- P 1 7 . . . . . 花巻市文化会館

# 宮野目振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	新総合花巻病院のオープン時の診療科目の内容はどうか。	当初の計画では23診療科目で進めていたようですが、皮膚科、眼科、小児科、助産師外来の4科が医師確保の見通しが立たず、開設が難航している情報が伝えられています。
2	助産師外来の開設が困難な理由は何か。	助産師の成り手がいないことが大きな理由であり、市としては予算を組んで助産師確保支援に取り組んでいます。
3	新総合花巻病院の診療科目が減ることにより事業費が当初よりも低くなるとすれば、市からの補助金の減額などはどうなるのか。	調査して回答します。  (回答：補助金の対象となる経費は、病院及び看護学校の建設工事に要する費用に対してであり、診療科目ごとによる積算ではありません)
4	新聞報道では新総合花巻病院の総事業費が66億8,800万円とのことだが、当初の86億円からするとだいぶ減額のようにだがどうということなのか。	確定された金額は示されておりません。
5	他市では、医師確保のためのスタッフを置いている事例があるが、当市でも議会側から専従スタッフを要望すべきでは。	昨年、医師確保に向けた自治体の取り組みを国が支援するという基本法が可決されており、法に沿って意見書の提出など、議会でも取り上げていきます。
6	市内医療機関の医師不足に対し、市当局は難しいとの答弁に終始しているが、議会はどう検証しているか。	医師確保は最重要課題と認識しています。議会としても医師養成支援制度など情報収集に努め高い意識で取り組んでいきます。
7	6月定例会で第5号請願で医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求めることについて不採択となったがなぜか。	医師偏在対策の効果や医師の働き方改革の結論などを踏まえて新たに議論を行うとして、医師養成数を減らす国の方針が変わってきたためです。
8	新花巻図書館が建設される場所や内容、また完成時期はいつなのか。	現在、基本計画が策定中で明らかにされていませんが、建設場所は花巻駅周辺のJRの土地の案が出ております。
9	今後、当局任せにならないように、議会として図書館建設特別委員会などを設けて取り組んでいくことはどうか。	大変に大事な点であり、持ち帰って検討していきます。
10	宮野目振興センターは災害時の指定避難所となっているが、建物が古くトイレも含めバリアフリーとはなっていない。高齢者が避難することに躊躇しているため改善してほしい。	12月議会定例会で取り上げる予定です。
11	議会の解散、議員の辞職、地方議員の解職に関し、法律ではどうなっているか、また、その手続きは。	詳しくは即答出来かねますが、議会として議員として知っておくべきことと考えます。
12	議会報告会について、1市3町で行っていたものを各振興センターでの開催に戻したのはなぜか。	市民からの要望により、各振興センターでの開催としました。
13	以前は、地域要望としてコミュニティ会議で優先順位を決めて提出していたが、2、3年前から市が優先順位を決めるようになってから要望が実現しなくなった。1年に1案件くらいは要望が通るように頼みたい。	他の行政区も同様で、市ではここ2、3年は継続事業を優先させ、新規分は手つかずの状況です。この件に関し、議会でも質問が出ており、今後は新規事業も取り入れるとの答弁がありました。
14	産業建設常任委員会は、9月25日に「人・農地プランの実質化」について所管事務調査をしているが、その内容を伺う。	将来的農業としての地域課題を共有化し、どのように農地を守るか、誰が担っていくのか、今後農家組合単位でのアンケート調査を基に地域で計画を立てて実質化を図っていくというものです。

# 太田振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	日米地位協定に関する請願について、前回は不採択であったが今回採択されている。どのような理由で変わったのか。	前回からの情勢や、議員個々の判断が変わったりすることで、このような判断になることがあります。
2	常任委員会で採択と決し、本会議で議決して意見書が関係大臣等へ提出されると思うが、意見書がどう取り扱われたのか調査等をしているか。	市議会で調査は行っておりません。
3	太田、笹間地区は児童数が減少し小学校統合の話もある。学区編成や宅地造成等人口増加策を打ち出すなど、市で積極的に行動できないか。	道の駅西南や、スマートＩＣ整備などが起爆剤になる可能性があると考えます。
4	学校評議員やコミュニティ会議のメンバーなどは固定化され、若い人新しい人の参画が困難になっているが、「コミュニティ・スクール」とはどのようなものか。	「学校運営協議会」を組織し、地域の声を反映させ、学校運営にも関わっていくものです。
5	市が作成したハザードマップにおいて太田地区内の豊沢川に色付けがない。台風災害など多発している今日、しっかりしたものを作成してほしい。 また、ハザードマップは配布して終わりではなく、地域に入って説明し、活用するようにしてほしい。	ご意見が反映されるよう担当部署に伝えます。  (防災危機管理課へ伝えました。なお、出前講座で随時ご要望があれば出向いて説明、周知しているとのことです。)
6	人・農地プランの実質化とは何か。	農地集積化、地域農業をどうするか地域や農協等関係機関で話し合い進めていくことです。
7	西南地区は農業が基幹産業。今は農業生産法人化などにシフトされ、小規模グループへの支援がない。小規模農家はそのままではなくなってしまう。	ご意見として承ります。

# 外川目振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	消防団の部の下の班が廃止されるようだが、班にある消防ポンプを残してほしい。	ご意見として承ります。
2	台風19号の際に広報車、消防車で避難の勧告があったが、防災無線は聞こえなかった。	災害情報の伝達方法についてこれからも検討が必要と考えます。
3	人・農地プランの実現は人口が減少している状況の中、兼業農家が多く難しい。	集落内で話し合い、プランを継続できるように検討してほしいと考えます。
4	地元の議員と話すことがほとんどないので、議会報告会には地元の議員が出席してほしい。	今回の班編成は各常任委員会、各会派が満遍なく配置することを重点としています。
5	大迫地域診療センターは月曜日に東北大医学部から外科の先生が来るので混んでいるが、その他の曜日には内科以外は石鳥谷の個人病院を紹介されるので高齢者だけしか行かない。 また、東和病院は高齢者が多く入院しているので、県立病院の再編計画に入っているようだが残してほしい。	大迫地域診療センターの実情は理解しました。県立東和病院の存続について議会は市と同様に存続を求める方向です。

# 八幡振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	台風19号による花巻市の被害状況はどうか。	29カ所に避難所を開設し、218世帯、389名が避難しました。また、倒木等により300戸ほどが停電しました。
2	水害時の避難場所に八幡振興センターが記載されたままになっている。	指定された地域に避難してほしいと考えます。
3	避難する場合、危険な箇所を通過して避難する必要があるのか。また、地域別に避難場所を決めるのはおかしい。	安全な近場に避難したほうが良いと考えます。
4	今回の災害による罹災証明書の発行は考えていないか。	大規模な災害の時は発行しますが、今回は発行しないと思います。
5	道の駅西南の開設が予定されているようだが、採算は合うのか。また、農協のガソリンスタンドを移設する計画はないのか。	敷地内にコンビニを建設予定ですが、ガソリンスタンドは作らない予定です。
6	起業化支援センターを利用、卒業した人達が独立しやすいように工業団地の敷地を小分けにしてはどうか。もともと資金に余力がある人は少ないと思われるから、安い値段で土地購入が可能な場所を提供してほしい。	ご意見として承ります。
7	矢巾、盛岡地域を通勤圏内にする住宅用地を開発するつもりはないか。農振法を解除して使用していない農地を住宅用地にしてはどうか。石鳥谷駅前土地では規模が小さすぎる。	市は今年、国土利用計画を見直しました。農振地域は5年ごとに見直すのですぐにはできません。
8	定例議会を開く際、市民憲章を唱和してはどうか。	ご意見として承ります。
9	成年後見人制度を必要としている人が、今後多くなることは明らかである。後見人育成にも時間がかかり、ボランティアだけでは長続きしない。社協も考えているようだが、市の補助金で育成できないものか。	広域で後見人制度を考える必要があります。そのために市政調査会で議員の研修を行う予定です。

# 浮田振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	浮田地区は中山間地域であり、農地の利活用が進まない。米中心では全く不利で、施設園芸等も実績がなく踏み込めない。後継者もいなく、見通せない状態が続いている。新しい時代にあった農地の活用方法はないか。	現在市では、集落ごとに農地ビジョンの実質化を図ることとしています。浮田地区は、来年の後半頃にアンケートの結果を踏まえて、実質化を図る予定です。また、他県では中山間地でのハウス栽培等を進めている地域もあります。議員も様々な施策を提案できるように活動していきます。
2	先日の岩手日報に県立東和病院の統廃合についての記事が掲載された。このことについて議員の考えを聞きたい。	県立東和病院は、市内又は当地区の地域医療を担っており、必要であると認識しています。今後の動きを注視しながら、場合によっては県及び国会議員とも連携し活動していきます。また、存続に向けて市民が請願を申請する手段もあります。
3	県立東和病院の入院ベッド稼働率が86%となっている。家族が入院しても3ヶ月後には退院と告げられた。ベッドが空いているのに退院しなければならなくなった。非常に矛盾を感じている。議員は経営の仕方を検証するべきではないか。	3ヶ月後の退院については、診療報酬の兼ね合いが背景にあると考えます。医療費が増加している今日において、入院期間を定められるのは、東和病院だけの問題ではないと考えます。
4	浮田保育園の今後について、保護者から閉園に対する要望書が提出された。また、アンケートによる調査も行われたが、残してほしいとの要望もあり、地域の声が一つにまとまっていないのが現状。大迫町の内川目保育園の閉園に至るまでの経過を聞きたい。	内川目保育園の保護者から「大迫保育園と統合させていただきたい」との要望書を教育委員会に提出されました。子供が減少する現状を憂慮する心情に理解を示す環境にあり、存続の声は極めて少なく統合することになりました。市では、保育園の再編や民間移行による充実強化に取り組んでいるところであり、今後も小規模な保育園の統合は考えられます。浮田地域としての今後の保育園のあり方についての考えを取りまとめることが重要と考えます。
5	議会中、当局が議案を提出する際に、決まって「よろしくご審議の上、ご決定下さいますようよろしくお願ひします」と発言する。ラジオで聞いていても耳障りだ。そう言わなければ、議会側は審議しないようにも聞こえるが、議員はどのように感じているのか。	当局は議会に議案を上程し、承認を得て施策を遂行しなければならない立場から、提案者側の社交辞令的なものと捉えております。もちろん議会では、慎重に審議を行い、決定していることは申すまでもありません。
6	先日「花巻市里山整備活動交付金」の案内があった。こうした施策については、班回覧し地域全ての人が共有する必要があるのではないか。	市では、制度を活用するように促したと認識しています。担当課と調整しながら、施策を活用してほしいと考えます。

# 谷内振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	国は、公立病院の再編が必要として県立東和病院も名前が挙がっている。再編対象要件の内容は、現地の状況とはかけ離れており、納得できるものではない。今後、議会としても無くさない方向で願います。	議会としても大きな衝撃として受け止めています。12月定例会にも取り上げる予定であり、市としても無くさないようにしっかりとした態勢をとるよう要望していきます。
2	道の駅西南は、当初ガソリンスタンドも併設されると聞いたが、予定通りなのか、また、予算の総体と、県と市の負担割合はいくらか。	ガソリンスタンドは該業者が無く、併設は見込めない状況です。総事業予算は7億円程度を見込んでおり、県との負担割合についての資料は手元にありませんが、今年度の県の負担分は9,300万円となっています。
3	介護予防・日常生活支援総合事業が実施されて2年が経過したが、介護保険料への影響や利用者人数、その後の課題などはどうか。	市内では現在7行政区が導入して実施していますが、プライバシーや個人情報などが課題となり、利用者の増加につながらず、介護保険料への影響も出て来ていません。
4	災害時の自主防災会の活動の中で、要支援世帯への対応として市から様々要請が届くが、要支援者全員への救護には限界がある。市は、自主防災会の活動に対してどこまでの支援を想定しているのか。また市指定の避難所のほかに、自主防災会では公民館などを一時避難所として開設し避難したが、市は把握しているのか不安がある。	要支援者への対応は消防団も実施することとなり、災害時には自主防災会との的確な連携が必要と考えます。また、危険度の大きい状況下での支援活動のなすべき範囲や責任、そして、一時避難所への支援については、議会等で取り上げていきます。
5	花巻にはバイオマス発電所がすでにあるが、今後、民間などが用地を取得して2カ所目のバイオマス発電所を稼働させることはどうか。	現在、発電所の燃料となる木材は、50キロ圏内から調達しています。木材資源量としては充分であり、同様に今後、市内での発電事業を検討することについては、可能であると考えます。
6	花巻PAスマートインターチェンジの概略について伺う。	交通体系の整備拡充により、今後、東芝関係の会社の操業に伴う運送の増加や救急医療、近隣地の活性化へも期待が持っていると受け止めています。
7	現在、旧東和高校はどのような使用状況となっているのか。今後の利活用について、例えば、水害時等の避難場所とはならないのか。	県としては売却を考えているようで、現在、体育館は本などの倉庫として使用されています。隣に合宿所があり立派なつくりとなっています。避難場所として使用が可能なのかについては、継続して考えていきます。
8	今般、人・農地プランの実質化が出されているが、現在の農地・水や中山間の制度との関連はどうなるのか、これまで通り農業を基幹産業として維持できるのか。	人・農地プランの実質化こそがこれまで通りの農業を基幹産業としていくものと考えています。これまでの制度を見直すことも出てくる場合もあり、アンケートからの声を基に積み上げられ、その上で方向性が見えてくるものと受け止めています。
9	農業の集約や大型化に目が行き過ぎている感がある。あわせて小規模農業への支援の在り方にも目を向けて集落農業の良さは継続すべきである。	現状のなかではどんどん農村が衰退している事実は受け止めざるを得ません。一方で、古き良き時代を継続させることについて考えることも必要であると感じています。
10	担い手確保について、農業の大変さばかりが独り歩きし、そのことによって若者が遠ざかっている。農業をしたい若者を育てるべきである。	ご意見として承ります。
11	予約乗合タクシーについて、男性ドライバーの声が小さくて聞きにくいこと、乗車場所が変わることがあること、近くまで来て欲しいとのこと。	ご意見として承ります。

	ご質問・ご意見	会場での回答
12	<p>人口減少対策として婚活や農業の担い手募集、そして、定住促進などがあるが、市の施策や議員の働きかけの現状はどうか。</p>	<p>婚活支援としては、県のアイサポ岩手、市のはなまき婚シェルジュ制度、NPOおせっ会、商工会議所、農業協同組合がありますが、実績はそれぞれ数件にとどまり、大きな成果は得られていません。農業の担い手募集としては、新規就農者移住支援制度、定住促進としては、住宅取得補助金制度などがあります。議会としては、毎定例会ごとにそれぞれの議員が、人口減少対策の質問を提案を含めて取り上げています。</p>
13	<p>他県との交通指導に関する研修会の席で、花巻市では運転免許証返納者に対し1年間のみ有効のバス及びタクシー券を支給しているが、1年間では短期間すぎるのもっと期間を延ばすべきではとの意見が出たが検討して欲しい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>

# 八重畑振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	先の参院選、憲法改正の議論を深めるとあったが、平和維持のためにも憲法を擁護してほしい。	それぞれの議員の判断によるものと考えます。
2	中山間地の圃場整備事業の推進にお力添え願いたい。昭和45年の区画整理以後のままで用水パイプもない。	圃場整備事業は完了までに長期間必要なことから、短期完了を働きかけていきたいと思えます。
3	総合支所機能強化のために支所長裁量の予算を措置されたい。振興センターの権限強化を。文教福祉部門を担ってほしい。	支所長裁量は配慮されています。振興センターはまちづくりと生涯学習の拠点であり、権限を持つというものではありません。
4	コミュニティ協議会や各種団体は多くの活動があり、2人の事務職員の業務は膨大になっている。それに見合う報酬が必要と考える。	市は指定管理の次期協定に向けて人件費を検討するとしております。
5	コミュニティ協議会は市の下請けの感じがする。行政がやるべきものを押し付けられているのではないか。	議会でも議論しており、担い手不足の課題もあります。
6	先の台風被害で農免道路が倒木により遮断された。避難路等確保のためにも倒木対策が必要ではないか。	県道、市道への倒木については、一般質問でも取り上げた経緯がありますが、個人所有の樹木は困難な面があります。
7	議会報告会の日程について、今回は区長研修会と重なった。他の行事と重複しないよう調整してほしい。	ご意見として承ります。
8	議会改革推進会議では、どのような活動をしているのか。	4つの柱で調査研究をしています。 ①市民に身近な議会であるか ②一般質問の在り方 ③予算・決算の審査方法 ④議会インターネット中継の録画配信の可能性
9	まちづくりの基本プラン、方向性が市民に分かりやすいものにするため、アドバルーンが必要。合併前は4市町個々にキャッチフレーズがあったはず。	キャッチフレーズというのか将来都市像として掲げられているものはありますが、長すぎの感があります。

## 松園振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	空き家バンクの登録状況について伺う。	登録状況は花巻地区28件、石鳥谷地区3件、東和地区4件、大迫地区6件です。
2	移住・定住の傾向は分からないか。	新規就農は平成28年からの4年間で8件です。
3	常任委員会で所管事務調査を行っているようだが、政策提言はしているのか。	政策提言までは至っていませんが、市長に提案するための調査段階にあります。
4	請願を採択して、国に意見書を出したようだが意見書に回答はあるのか。	回答はありませんが、全国市議会議長会からも多くの意見書を出しております。
5	今年二つの大きな台風の被害があったが、災害ごみの仮置き場、処理計画等が必要と思うがプランはあるか。	プランは作成していませんが、必要と考えます。
6	花巻市松園墓苑の共同墓地近くの松の木が倒れ掛かっており車高の高い車が通行できない。	担当部署に伝えます。 (道路課に伝えました)

# 笹間振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	笹間第二小学校の合併、小中一貫校の問題を早く決めてほしい。	ご意見として承ります。
2	コミュニティ・スクールとは何か。	学区の住民と共に学校の行事に関わり、地域の活性化を図っていくものです。国からモデル校として市内の4校が参加し、来年度から実施する予定です。
3	中小農家の経営は厳しいものがある。市として独自の農業支援策はないのか。	スマート農業に対する補助制度はあるが、個々の農家を対象としたものはありません。
4	市が各地域に業務を委託している事業はどれくらいあるのか。なり手がなくて困っている。	区長、民生委員の選任には各地域で苦勞していることは承知しています。現在、担当課で調査中です。
5	有害鳥獣被害の対策はどうなっているのか。笹間地区にイノシシが出没し、農作物の被害が出ている。	9月定例会で駆除費用として補正予算を組み、承認されております。猟友会に駆除を依頼し、また電気柵の設置も行っております。
6	道の駅西南の建設が決まった。笹間、太田地区住民の交流の場、希望の場でもある。皆さんの支援をお願いしたい。	ご意見として承ります。
7	子供が実家に帰って、安心して赤ちゃんが産めるような病院がほしい。	助産師育成のための補助制度を補正予算に計上し、9月の定例会で承認されております。
8	すべての幼児が保育園、幼稚園に入れるような具体的な施策を行ってほしい。	子供に対する支援策はあり、待機児童の減少に取り組んでいますが、保育士が不足していることも現実にあります。

# 大瀬川振興センター

## 会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	空き家が増えてきており、動物のすみかになってきているところもある。個人の財産だとは理解しているが対処の方法はないものか。	空き家バンク制度により人口減少への対策を行っています。管理が行き届かない空き家については、シルバー人材センター等の活用や固定資産税通知の際にパンフレットを同封して施策を呼びかけております。地域によってはこうした現状もあり、市民の声として伝えていきたいと思っております。
2	有害鳥獣対策（熊、イノシシ、日本鹿、ハクビシ）対策はないものか。	市やJAでは、電気柵による予防策について、個人や団体に設置費用の補助を行っています。また、捕獲頭数を定めて対処していますが、目標値には達していない現状です。地域の実態を捉えながら、施策を強化するように働きかけていきたいと思っております。
3	大瀬川では基盤整備計画はあるが、将来の担い手確保が見通せない現状である。このような状況をどのように受け止めているのか。	人・農地プランの実質化では、当地区は全体の5割以上維持していく方向性となっておりますが、半数は見通しが見えない状況と理解しています。まずは、基盤整備を実施し、耕作しやすい環境にすることが重要であると考えます。
4	県内では、基盤整備計画が殺到し、計画があっても実施に結びつけることは困難ではないか。優先順位を定めたり、市としても支援すべきではないか。	ご意見として承ります。
5	県道13号線沿いのチェーン脱着ゾーンと大瀬川振興センター駐車場に隣接のトイレの利用者が激増している。このトイレは運動公園の利用者用として整備したのだが、トラック運転手が多く利用している。指定管理を受けている振興センター職員が清掃しているが、利用者のマナーに問題があり、物が詰まって数ヶ月使用できない状態が続いた。用途が違う目的になってきており、トイレ廃止の声も聞こえたりもする。継続させるための対策はあるか。	地域の必要なトイレであることを担当部署に伝えます。利用者の多くは県道を通るドライバーでもあり、県土木事務所に実態を申し上げるべきものと思われ  (石鳥谷総合支所地域支援室に伝えました)
6	大迫や石鳥谷の小中一貫校の方向性はどうなっているのか。	教育委員会では、花巻と石鳥谷に小中一貫校の方向性を示しました。また石鳥谷と大迫は中学校を1校との方針を示しているが現状では白紙です。しかし、こうした取り組みは、極めて容易なことではなく、現状よりも優れた教育環境の整備及び充実を示すことで、地域の理解を得たいとの考えともとれます。小中一貫校には、併設型や連携型等様々な形態があり、議会としても知識を深めていきたいと考えます。
7	小学校の学習発表会を拝見したが、非常に内容が濃く優れた発表であった。こうした取り組みも教職員の多忙化につながっているのではないかと感じた。	ご意見として承ります。
8	スマート農業について期待する反面、実施に向けてハードルが高いのではないか。	市ではドローン等の導入や資格取得に向けた支援を拡充し、GPS基地局も4カ所整備しております。今後普及するものと感じていますが、基盤整備等の条件が優先だと感じております。
9	9月定例会の最終で、議長の閉会宣言後に櫻井議員が発言しネット中継が終了した。何があったのか、非常に疑問を感じているが、明らかにしてほしい。	9月定例会中の市長のアメリカ出張に対して、「定例会の招集は市長が行うものだが、議会に報告もせず約1週間も留守にするのは問題ではないか」との発言を櫻井議員が行いましたが、議会終了後の発言であったため操作途中で一部が中継されたものです。

	ご質問・ご意見	会場での回答
10	市長は議会を軽視しているのではないか。具体的には、答弁の中で「同じ発言をしないでほしい、議事録を見てほしい」等と話している。議会が市長の意のままになっているのではないか。議会運営委員会で、改めるように検討できないものか。	今後、議会運営委員会で検証していきます。
11	一般質問の市長答弁が長い。再質問の時間も十分に確保できない状況ではないか。	今後、議会運営委員会で検証していきます。
12	6月定例会に議会中継のオンデマンド放送について陳情した。ようやく方向性がみえてきたようにも感じているが、今後の取り組みについて何う。	本件については議会改革推進会議で検討中です。新年度予算に計上の方針ですが、当初予算で認められた場合には、6月定例会からを目処に議会中継のオンデマンド放送を実施したいと考えています。今後も、開かれた議会を目指し、情報の公開に努めていきます。
13	市議会中継を見ていて休憩が多いと感じている。続けて審議できないものか。	多くの市民からそのような声が出てくるのであれば検討することになりますが、現時点ではそのような声はないと認識しています。これまで通り進めて参りたいと考えます。
14	国会は9時からの開会だが、花巻市議会も10時からの開会を早めて9時にできないものか。	会議時間は花巻市議会会議規則で定められています。
15	市政懇談会と市民と議会との懇談会の違いは何か。両方出ていると同じように感じる。	当局は計画案を議会に上程し、議会が承認して事業が実施されていることから、個々具体の質問では、当局と同様の回答になることはご理解願います。なお、議会側は協議の内容や経過等についてできる限り説明し、市民の側に立った結論を導き出していることが伝わるように努めています。
16	各常任委員会で所管事務調査を行っているが、調査結果が見えてこない。何の目的で調査を行っているのか。	所管事務調査は、市の課題や他市の先進事例を学びながら議員の資質向上や、市政の発展に役立てることが最も大きな目的です。その得られた結果は、一般質問の場や議案審議の中で活かされているものと認識しています。また、常任委員会では、関係する団体と市政の課題について意見交換したり、先進地の事例を紹介したりするなど、得られた情報を共有するように努めています。

# 内川目振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	神楽の館の屋根が錆びているため、そのうち穴が開いて雨漏りするものと思っているが、早めの補修が必要である。	担当部署に伝えます。 (大迫総合支所地域振興課に伝えました)
2	早池峰神楽関連のイベントに来られる方々は、路線バス廃止に伴い、大迫から内川目までの足が無く、不便をかけたが、花巻駅からのアクセスを検討して欲しい。	ご意見として承ります。
3	各常任委員会の所管事務調査の調査結果が花巻市にとってはどうなのか、もう少し具体的な説明を聞きたい。	各常任委員会より説明いたしました。
4	大迫の医療環境として、大迫地域診療センターは非常勤医師でいつ来ているのか分からないことが多いため、石鳥谷の医療センターに行く人が多い。運転免許証を返納した場合には病院に行けなくなるなど、不安を抱えて生活している。医療環境の良いところに移転していくこともあり、ますます大迫は衰退し空き家も増えて来るが対策を願いたい。	切実な問題として承り、議会としても議論に努めてまいります。
5	空き家が増え続けているが、なぜ空き家になっているのかの調査もして欲しい。病院に近い便利の良いところへ引っ越す例も多いのではと考える。	ご意見として承ります。

# 小山田振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	国が全国の病院の再編を発表し、東和病院も含まれていた。救急患者のためにも地域住民の命を守るためにもなくしてはならない	議会も同様に危惧しており、全市民による取り組みで存続に向けた活動が必要と考えます。
2	交通指導員が定数割れし20%少ない69人。成り手不足、高齢化で交通安全の啓発も大変になっている。交通安全行政の推進と指導員確保に支援願いたい。	ご意見として承ります。
3	市議会の会派について、国会議員では会派によって発言時間枠が考慮されている。市議会でも何らかの対応が必要でないか。	現在は5つの会派がありますが、会派別の質問時間等に制限はありません。ご意見として承ります。
4	テレビ難視聴地域の施設改修に市の支援が必要である。特に台風洪水などの自然災害は、早期に情報を把握する上で、テレビを見られないのは命に関わる問題だ。市内に50を超える難視聴解消施設組合があるが、支援を考慮してほしい。市へ要望したが前向きな回答がなかった。	過去に一般質問でも取り上げられましたが、支援は困難であるとの回答でした。しかし、重要な課題であると認識しており研究していきたいと考えます。
5	観光農園的なものやマツタケの産地化など必要ではないか。	6次産業化など様々な取り組みもされており、振興を図りたいと思います。
6	ふるさと納税ではどのような品物を贈っているのか。寄付金額はいかほどか。	温泉宿泊や地元東和のホームスパンなど特産品を充てています。寄付金は平成29年度が1億5千5百万円、平成30年度は1億9千万円となっています。

# 八日市振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	有害鳥獣の市の報告は現状より少ない。地元の人から聞き取りすればもっと増えるはず。イノシシは一地区10頭程度で行動している。(ビデオ撮影済)	今後実態について情報収集に努めます。
2	500ha程の基盤整備の計画があり、県にイノシシが来ないように設計段階から山側の田に緩衝帯を設けて欲しいと要望したが、多面的事業で対応して欲しいと言われた。市は有害鳥獣の対応方法を教えて欲しい。	有害鳥獣対策は重要な課題と捉え、議会でも論議していきます。
3	若手農業者のために新しい作目にチャレンジできる小規模なチャレンジ補助金を作って欲しい。	若手農業者のためのチャレンジできる施策が必要と考えます。
4	議会報告会の報告書の公開が遅いので、早く公開して欲しい。(2月の報告会が5月に公開となった)	できるだけ早く公開できるよう努めます。
5	議会改革推進会議の自由討議の内容が分からないので、休憩中の討議でなく会議録の残る中で討議して欲しい。(常任委員会も同様)	自由討議については、今後も論議していきます。
6	市のホームページがリニューアルしたが見づらい。	ご意見として承ります。
7	空き家対策を地域ごとに外部の意見を取り入れ、成立には報酬を出すなり、もっと空き家が減るよう進めてほしい。	ご意見として承ります。

# 田瀬振興センター

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	新聞によると県立東和病院が将来、閉鎖の可能性があると載っていたが、存続させてほしい。	医師、看護師不足ではあるが、現在のところ閉鎖する予定はありません。
2	消防の再編成は必要だが、機能別消防団の活動のあり方や、出動の方法に一考はないものか。	年に1回は機関講習を受けてほしいと考えます。
3	この地域も空き家があり、ハクビシンが出入りして建物の被害が出ている。持ち主が近くにいないため、どうにかならないか。	空き家バンク制度があり、東和では現在、利用している家が14軒あります。不動産会社が資産を評価し、ランク別に分けています。借り入れは銀行を通すことにより、金利が安くなっています。また、市からの補助制度を活用することも可能です。
4	人が住めないような所有者不明の空き家はどう対処したらよいか。	ボランティアで整理、管理をするか、相続放棄がなされない限り手をつけられません。市の解体補助もありますが、平地にすることで固定資産税も上がります。
5	昭和40年代に観光開発のために購入された山が手を付けられないまま、荒れ放題になっている。何とかならないか。	ご意見として承ります。
6	県道宮守線の花巻部分の道路が狭いまま、工事が止まっている。	市から県に要望しています。
7	地域にある各種団体の調査をしてほしい。	市の担当課で調べています。
8	専業農家である。市ではスマート農業に力を入れているが、中山間地域にも農業に助成をしてほしい。農地の集約、法人化には平場では経営が成り立つが、中山間地では成り立たない。市独自の支援をお願いしたい。	ご意見として承ります。

# 花巻市文化会館

会場でのご質問・ご意見

	ご質問・ご意見	会場での回答
1	新設予定の花巻図書館について、進捗状況を教えてください。	新設の図書館予定地は、花巻駅の東口付近となっておりますが、具体的な場所については発表されておられません。今後、整備基本計画を策定する予定となっております。
2	なぜ、今になって図書館を新たに整備する必要があるのか。多額なお金を使うのであれば、企業誘致や人口減少対策に充てるべきではないか。	図書館の整備については、市民の声やパブリックコメントを実施し、整備計画に至ったと認識しております。また、企業誘致については、9月定例会で可決したとおり、国土利用計画第2次を策定し、用地の取得や農地の変更を可決しております。人口減少対策も様々な施策を講じている状況です。
3	旧まん福の土地は、議会が賛同して取得したわけだが、現状の問題を各議員はどう認識しているのか。また、「エセナ」跡地のついて、他県の不動産会社が購入する話があり、市内業者がそれを防止するために購入した物である。そのような背景を理解されているのか。	旧まん福について、議員個々に考えがありますが、本報告会は議会として実施しているものであり、個々の考えを述べることはできないのでご理解願います。また、歴史的背景については、改めて認識させていただいたことから、ご意見も参考に取り組みでまいります。
4	エセナ跡地は公園を整備する目的で購入したのか。	エセナ跡地は、災害公営住宅や子育て支援住宅を整備する上で、まちなかに賑わいを取り戻す目的で整備したものと認識しています。
5	総合花巻病院の新築移転に伴い、花巻市も多額の支援をしている。その中で、移転となった際の跡地利用についての考えはあるのか。	厚生病院跡地は土壌汚染対策が必要であったことから、県医療局が土壌を入れ替えて、経費は除外し公定価格で市に譲渡されました。現在の総合花巻病院跡地についても、こうした問題が懸念されますが、汚染が確認された場合は、総合花巻病院が全面的に処理を行ってから、市が譲渡を受けることは決まっています。様々な課題を克服し、それから跡地利用について検討がなされるものと認識しています。
6	総合花巻病院は救急指定になっているが、電話をしても担当医が不在で受け入れてもらえないこともある。新築移転した場合、こうした課題は克服されるのか。	現在の予定では、新病院となって11名の医師で開院する見込みとなっております。救急外来の体制については、新病院となってから見極めてゆく必要があります。